Ⅵ. 調査票

男女共同参画に関するアンケート調査

～誰もがいきいきと暮らすまちをめざして～

2009年（平成21年）９月

皆様には日頃から市政にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

さて、本市では、性別にかかわりなく誰もが自分らしく、いきいきと暮らすことができる男女共同参画社会をめざし、さまざまな施策をおこなっておりますが、一層の充実を図るため、新しい「男女共同参画推進プラン」を策定することになりました。

そこで、市民の皆様の声をおうかがいし、新プランに反映させるため、アンケート調査を実施することにいたしました。

調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

東大阪市長　野田義和

ご記入にあたってのお願い

1　あて名のご本人が回答してください。（ご本人による記入が困難な場合は代筆でお願いします。）

2　記入が終わりましたら、この調査票を同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、**<u>10月6日（火）まで</u>**に投函してください。

3　この調査票は無記名方式で、回答の結果はコンピュータで集計処理しますので、個人が特定されることはいっさいありません。また、ご回答いただいた内容をこの調査以外で使用することはありません。

4　回答は、問１から順に、質問ごとに用意してある答（選択肢）の中から、あなたのお考えにあてはまる番号、または、項目に○をつける、あるいは、数字、番号をご記入ください。

5　このアンケート調査についてのお問い合わせは、下記までお願いします。

東大阪市　人権文化部　男女共同参画課
〒577－8521　東大阪市荒本北１丁目１番１号
電　話　　０６-４３０９-３３００（直通）
ファックス　０６-４３０９-３８２３

東大阪市

あなたについておたずねします

問１　あなたの性別は。（○は１つ）

１．女性　　２．男性　　３．その他

問２　あなたの年齢は。（○は１つ）

１．20歳未満　　２．20～29歳　　３．30～39歳
４．40～49歳　　５．50～59歳　　６．60～69歳
７．70歳以上

問３　あなたは結婚（事実婚を含む）していますか。（○は１つ）

１．結婚していない　　２．結婚している（事実婚を含む）
３．離別した　　４．死別した

問４　あなたは、お子さんがいますか。（○は１つ）

１．子どもはいない　　２．子どもがいる

⇩

１．１人　　２．２人　　３．３人　　４．４人以上

問５　あなたの世帯構成は、つぎのうちどれですか。（○は１つ）

１．一人暮らし　　２．夫婦（事実婚を含む）のみ
３．夫婦と子ども（二世代）　　４．ひとり親と子ども（二世代）
５．祖父母と親と子ども（三世代）　　６．その他（具体的に　　）

問６　あなたは、現在収入を得る仕事をしていますか。（○は１つ）

１．仕事をしている　　２．仕事はしていない

⇩

問６－１　それは、どのような働き方ですか。（○は１つ）

１．会社、団体、官公庁などの常勤の勤め人　　２．パート、アルバイトの勤め人（常勤なみ）
３．パート、アルバイトの勤め人（短時間）　　４．自営業主・経営者（農林業を含む）
５．自営業の手伝い、家族従業員　　６．内職など家庭でできる仕事
７．その他（具体的に　　）

問７　あなたの配偶者またはパートナーは、収入を得る仕事をしていますか。（○は１つ）

１．仕事をしている　　２．仕事はしていない
３．配偶者またはパートナーはいない

仕事について

現在「仕事をしていない」方は、3ページ問12 におすすみください。

問６で、現在「仕事をしている」と答えられた方におたずねします。

問８　あなたは、１週間でおおよそ何時間くらい働いていますか（残業時間も含みます）。

（○は１つ）

１．２０時間未満　　２．２０～３０時間未満
３．３０～４０時間未満　　４．４０～５０時間未満
５．５０～６０時間未満　　６．６０時間以上

問９　あなたの昨年１年間の収入（税込み）は、おおよそいくらでしたか。（○は１つ）

１．１０３万円未満　　２．１０３万円～２００万円未満
３．２００万円～３００万円未満　　４．３００万円～４００万円未満
５．４００万円～５００万円未満　　６．５００万円～７００万円未満
７．７００万円～１，０００万円未満　　８．１，０００万円以上

問10　あなたは、いまの仕事でストレス（不安や悩み）を感じていますか。①～⑨の項目ごとに当てはまる番号に○をしてください。（①～⑨の項目ごとに○は１つずつ）

	ストレスを強く感じる	ストレスを感じる	ストレスはほとんど感じない	当てはまらない
① 上司や部下、同僚との人間関係	1	2	3	4
② 労働時間が長い	1	2	3	4
③ 短時間勤務やフレックスタイム*などの制度がなく、勤務時間に柔軟性がない	1	2	3	4
④ 収入が少ない	1	2	3	4
⑤ 不況・解雇、将来性が感じられない	1	2	3	4
⑥ 仕事がおもしろくない	1	2	3	4
⑦ 子どもや高齢者の世話などがあって十分に働けない	1	2	3	4
⑧ 休みが十分とれない	1	2	3	4
⑨ その他（具体的に　　）	1	2	3	4

＊**フレックスタイム制度**　労使協定に基づき、労働者が自分の始業時刻と終業時刻を一定の範囲で自由に決められる制度

問11　あなたの今の職場では、性別によって、対応や評価に差があると思いますか。あなたの実感に近いものを選んで番号に○をつけてください。（①～⑫の項目ごとに○は１つずつ）

	「男性」の方が優遇されている	平等である	「女性」の方が優遇されている	当てはまらない
① 募集・採用の仕方	1	2	3	4
② 採用数	1	2	3	4
③ 配置される職場	1	2	3	4
④ 仕事の内容	1	2	3	4
⑤ 賃金	1	2	3	4
⑥ 昇進・昇格	1	2	3	4
⑦ 能力評価（業績評価・人事考課など）	1	2	3	4
⑧ 管理職への登用	1	2	3	4
⑨ 研修の頻度や内容	1	2	3	4
⑩ 定年まで働き続けやすい雰囲気	1	2	3	4
⑪ 育児・介護休業などの取得に関して	1	2	3	4
⑫ その他（具体的に　　）	1	2	3	4

問６で、「仕事はしていない」と答えられた方におたずねします。

問12　あなたが仕事をしていないのはどうしてですか。（○は１つ）

1．やりたい仕事がない
2．求職中である
3．家事や子育てをしている
4．介護・看護をしている
5．定年退職した
6．健康上の問題がある
7．学生である
8．働く必要がない
9．働きたくない
10．その他（具体的に　　）

問13　あなたは、今後、収入を得る仕事につきたいと思いますか。（○は１つ）

１．ぜひ、仕事につきたい　　２．できれば、仕事につきたい

３．仕事につきたいと思わない　　４．わからない

問13－1　あなたは、今後、仕事につく上で何か困ったことや不安がありますか。
（○はいくつでも）

１．自分のしたい仕事につけるか　　２．自分の資格や能力が通用するか

３．職場の人間関係がうまくいくか　　４．賃金など、望む労働条件が得られるか

５．自分の健康状態や体力　　６．家族の理解が得られるか

７．家事、子育て、介護との両立ができるか　　８．年齢制限

９．保育所（園）、学童保育を利用できるか　　10．その他（具体的に　　）

11．特にない

日常生活や子育てについて

問14　あなたは、次の①～⑤の項目についてどのように思いますか。感じたままをお答えください。
（①～⑤の項目ごとに○は１つずつ）

	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえないと思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
① 男の子は男らしく、女の子は女らしく育てる方がよい	1	2	3	4	5
② 妻や子どもを養うのは、男性の責任である	1	2	3	4	5
③ 育児や介護、病人の世話は、男性より女性がする方がよい	1	2	3	4	5
④ 子どもが３歳くらいまでは母親のもとで育てる方がよい	1	2	3	4	5
⑤ 男性の方が女性より、管理職としての資質がある	1	2	3	4	5

問15　あなたは、普段の平日をどのように過ごしていますか。①～⑥の各項目に使うおおよその時間をご記入ください。

①　睡眠	時間　分
②　食事、入浴など	時間　分
③　仕事・通勤あるいは学業・通学	時間　分
④　家事・育児・介護など	時間　分
⑤　余暇、自由時間	時間　分
⑥　その他（具体的に　　）	時間　分
合　計	２４時間　００分

問16、17 における言葉の意味は次のとおりです。

「家庭生活」……家族と過すこと、家事(食事のしたく、かたづけ、そうじ、洗濯、買物など)、育児、介護・看護など

「地域・個人生活」…地域活動(ボランティア活動、社会参加活動、交際・つきあいなど)、学習・研究(学業も含む)、趣味・娯楽、スポーツなど

問16　あなたは、希望としては、どのような暮らし方をしたいと思いますか。あなたの希望に最も近いものを下から選んで○をつけてください。（○は１つ）

1．「仕事」を優先したい
2．「家庭生活」を優先したい
3．「地域・個人の生活」を優先したい
4．「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい
5．「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先したい
6．「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい
7．「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい

問17　それでは、あなたの実際の生活に最も近いものはどれでしょうか。最も近いものを下から選んで○をつけてください。（○は１つ）

1．「仕事」を優先している
2．「家庭生活」を優先している
3．「地域・個人の生活」を優先している
4．「仕事」と「家庭生活」をともに優先している
5．「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先している
6．「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先している
7．「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先している

問18　あなたは、女性の生き方について、（１）どのような生き方が望ましいと思われますか。（男性もお答えください。）
また、（２）あなた（女性）の実際の生き方は、次のどれにあたりますか。（男性は、あなたの配偶者についてお答えください。配偶者のおられない方は⑨を選択してください。）

(1) 望ましいと思う生き方	(2) 実際の生き方	((1) (2) それぞれに○は１つずつ)
1	1	① 結婚しないで、働き続ける
2	2	② 結婚し、子どもを持つ、持たないにかかわらず働き続ける
3	3	③ 結婚し、出産したら育児休業した後、職場に復帰する
4	4	④ 結婚し、出産を機に退職し、家事・育児に余裕ができたら再就職する
5	5	⑤ 結婚し、出産を機に退職し、家事・育児に専念する
6	6	⑥ 結婚し、出産をし、家事・育児に余裕ができてから初めて就職する
7	7	⑦ 就職せず、結婚・出産し、家事・子育てに専念する
8	8	⑧ その他（具体的に　　）
	9	⑨ 該当しない（配偶者はいない）

問19　あなたは、自分の子どもには将来「どのような生き方」をしてほしいと思いますか。
女の子、男の子それぞれの場合について、（　　）内にあなたの考えに近い項目の番号を記入してください。子どもがいない方も、仮にいた場合を想定してお答えください。

１．社会的な地位を得る
２．経済的に自立した生活をする
３．人間性豊かな生活をする
４．家族や周りの人たちと円満に暮らす
５．社会に貢献する
６．本人の個性や才能を生かした生活をする
７．本人の意思に任せる
８．その他（具体的に　　）

女の子の場合	（　　）（　　）
男の子の場合	（　　）（　　）

問20　男女平等を進めるために、小学校・中学校でどのような取り組みが重要だと思いますか。
（○はいくつでも）

1．男女平等の意識を育てる授業をする
2．進路指導は性別によってかたよることなく行い、個人の能力、個性、希望を大事にする
3．小学校の低学年から、「性」は人間の尊厳に関わるものであることを教える
4．教職員に、男女平等教育に関する研修を充実する
5．校長や教頭に女性を増やしていく
6．家庭科教育などにおいて、男女が平等に家庭の責任を果たすことの大切さを教える
7．メディア（新聞やテレビなど）の情報を正しく読み解き、役立てる能力を養う教育を進める
8．保護者会などを通じて保護者に対して男女共同参画の啓発をする
9．その他（具体的に　　）
10．特にない

男女の地位に関する意識について

問21　あなたは、社会における次の分野において、男女が平等になっていると思いますか。
（①～⑨の項目ごとに○は１つずつ）

	男性が優遇されている	どちらかといえば男性が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性が優遇されている	女性が優遇されている
① 学校教育の場では	1	2	3	4	5
② 雇用の機会や働く分野では	1	2	3	4	5
③ 職場（賃金や待遇など）では	1	2	3	4	5
④ 家庭生活の場では	1	2	3	4	5
⑤ 地域活動、社会活動への参加では	1	2	3	4	5
⑥ 社会通念・慣習やしきたり（冠婚葬祭など）では	1	2	3	4	5
⑦ 法律や制度では	1	2	3	4	5
⑧ 政治・経済活動への参加では	1	2	3	4	5
⑨ 社会全体からみて	1	2	3	4	5

問22　「男は仕事、女は家庭」という男女で役割を固定した考え方について、あなたはどう思いますか。（○は１つ）

１．同感である
２．どちらかといえば同感である

→ 問22－１　その理由は次のうちどれに近いですか。（○は１つ）

１．子どもの頃からそのように教育を受けてきたから
２．社会の風潮・慣習としてそうなっていると感じるから
３．男女で違う役割があると思うから
４．その他（　　）

３．どちらかといえば同感しない
４．同感しない

→ 問22－2　その理由は次のうちどれに近いですか。（○は１つ）

１．子どもの頃からそのように教育を受けてきたから
２．社会の風潮・慣習としてそうなっていると感じるから
３．男女で役割を決めるのはきゅうくつだから
４．その他（　　）

健康や地域活動、老後の暮らしについて

問23　あなたは、生活の中でどのようなことでストレス（不安や悩み）を感じていますか。
（①～⑦の項目ごとに○は１つずつ）

	ストレスを強く感じる	ストレスを感じる	ストレスをほとんど感じない	当てはまらない
①　老後の生活（経済や健康）	1	2	3	4
②　配偶者やパートナー、恋人のことで	1	2	3	4
③　子どものことで	1	2	3	4
④　経済的なことで	1	2	3	4
⑤　家事の負担	1	2	3	4
⑥　親の介護や病気	1	2	3	4
⑦　その他（具体的に　　）	1	2	3	4

問24　次の地域活動について、あなたの参加状況に近いものに○をつけてください。
（①～⑤の項目ごとに○は１つずつ）

	参加した、している・今後も参加したい	参加した、している・今後は参加したくない	参加したことがない・今後は参加したい	参加したことがない・今後も参加したくない
① 自治会・町内会の活動	1	2	3	4
② ＰＴＡや子ども会の活動	1	2	3	4
③ 地域における趣味・スポーツ・学習の活動	1	2	3	4
④ ＮＰＯ（非営利団体）やボランティアの活動	1	2	3	4
⑤ 民生委員・市政協力委員など公的な立場での活動	1	2	3	4

「今後は（も）参加したくない」と答えられた方におたずねします。

問24－１　それはどうしてですか。（○はいくつでも）

1．仕事が忙しいから
2．家事・育児・介護で忙しいから
3．健康状態がおもわしくないから
4．活動に魅力がないから
5．人間関係がわずらわしいから
6．活動の情報が得られないから
7．参加するきっかけがないから
8．あまり関心がないから
9．その他（具体的に　　）

問25　あなたは、老後の生活について、特に不安に思っていることがありますか。（○はいくつでも）

1．生きがいをみつけられるか
2．健康で過ごせるか
3．一人になったときの孤独
4．一人になったときの身の回りのこと
5．経済的にやっていけるか
6．病気や寝たきりになったとき、世話を頼める人がいるか
7．人生の最後をどこでどのように過すか
8．その他（具体的に　　）
9．特にない

問26　老後をいきいきと暮らすためにやってみたいことがありますか。（○はいくつでも）

1．働くこと
2．学習や教養を高めるための活動
3．スポーツ
4．趣味の活動
5．ボランティア活動
6．老人クラブ活動
7．自治会・町内会の活動
8．旅行
9．家族との団らん
10．夫婦の団らん
11．その他（具体的に）
12．特にない

「男性」におたずねします。

問27　あなたは「男もつらい」と感じることはありますか。（○は１つ）

1．ある
2．ない

問27－１　それはどんなことですか。（○はいくつでも）

1．なにかにつけ「男だから」「男のくせに」と言われる
2．妻子を養うのは男の責任だと言われる
3．男なのに酒が飲めないのかとからかわれる
4．力が弱い、運動が苦手だとバカにされる
5．仕事の責任が大きい、仕事ができて当たり前だと言われる
6．自分のやりたい仕事を自由に選べないことがある
7．衣食住のことが十分にできなくて、生活が不便である
8．家族とのコミュニケーションがうまくいかない
9．その他（具体的に　　）

「女性」におたずねします。

問28　東大阪市では、女性の心とからだの健康を保つために以下の取り組みを行っています。
あなたがご存じのものはどれですか。（①～⑦の項目ごとに○は１つずつ）
また、利用したことがあるものには「４」にも○をつけてください。

＊ＤＶ　配偶者や恋人など親しい人からの暴力	よく知っている	聞いたことがある	知らない	利用したことがある
①　食生活や健康づくりに関する情報提供	1	2	3	4
②　安心して出産にのぞむための検診・相談	1	2	3	4
③　女性特有の健康上の悩みなどに配慮した女性専用相談窓口	1	2	3	4
④　女性のための悩みや不安（ＤＶ*を含む）に対する相談	1	2	3	4
⑤　リフレッシュできるような場の提供	1	2	3	4
⑥　生涯を通じて心身ともに健康で過ごすための講座などの開催	1	2	3	4
⑦　その他（具体的に　　）	1	2	3	4

人権の尊重について

問29　あなたが、女性の人権が尊重されていないと感じるのはどのようなことですか。
（○はいくつでも）

1．男女の固定的な役割分担意識（「男は仕事、女は家庭」という考え方など）を押しつける
2．職場における差別待遇
3．セクシュアル・ハラスメント（性的いやがらせ）
4．内容に関係なく女性の水着姿や媚びたポーズなどを使用した広告など
5．女性のヌード写真などを掲載した新聞、雑誌、ビデオ、ＤＶＤ、ゲーム等
6．携帯電話やインターネット上のアダルトサイト
7．夫やパートナー、恋人からの暴力（デートＤＶ*を含む）
8．痴漢やレイプなどの性犯罪
9．性風俗営業、売買春、援助交際
10．その他（具体的に　　）
11．特にない

＊デートＤＶ　中高生、大学生など、結婚していない恋人間の暴力のこと

問30　あなたは配偶者やパートナー、恋人に、次のようなことをしたり、されたことがありますか。
（当てはまるものすべてに○をつけてください）

	されたことがある		したことがある	
	何度もあった（ある）	1、2度あった（ある）	何度もあった（ある）	1、2度あった（ある）
① 平手で打つ	1	2	3	4
② こぶしでなぐったり、足で蹴る	1	2	3	4
③ 身体を傷つける可能性のある物でなぐる	1	2	3	4
④ 生活費を渡さない	1	2	3	4
⑤ なぐるふりをして、おどす	1	2	3	4
⑥ 刃物などを突きつけて、おどす	1	2	3	4
⑦ 相手がいやがっているのに性的な行為を強要する	1	2	3	4
⑧ 見たくないのに、ポルノビデオやポルノ雑誌を見せる	1	2	3	4
⑨ 何を言っても長期間無視し続ける	1	2	3	4
⑩ 交友関係や携帯電話を細かくチェックする	1	2	3	4
⑪ 「誰のおかげで生活できるんだ」、「食わせてやっている」と言う	1	2	3	4
⑫ 大声でどなったり、物を壊したりする	1	2	3	4
⑬ 避妊に協力しない	1	2	3	4
⑭ したり、されたりしたことがない	1			

問30の選択肢①～⑬に１つ以上○をつけた方におうかがいします。

問31　問30のようなことをしたり、されたとき、その後どうしましたか。（○はいくつでも）

1．二人（夫と妻、パートナー・恋人同士）で話し合った
2．親や兄弟姉妹、親類に相談した
3．友人・知人に相談した
4．公的機関（市役所、男女共同参画センター、配偶者暴力相談支援センターなど）に相談した（電話相談を含む）
5．民間の機関（支援グループなど）に相談した
6．安全なところに避難した
7．医療機関（心療内科など）に相談した
8．警察に連絡、相談した
9．その他（具体的に　　）
10．どこにも相談しなかった、また、相談できなかった

問31で、「10.」と答えられた方におうかがいします。

問32　どこにも相談しなかった、また、相談できなかったのはなぜですか。（○はいくつでも）

1．どこに（誰に）相談したらよいのかわからなかった
2．恥ずかしくて誰にも言えなかった
3．相談しても無駄だと思った
4．相談したことがわかると仕返しをされたり、さらに暴力をふるわれると思った
5．自分さえ我慢すればやっていけると思った
6．自分にも悪いところがあると思った
7．相談するほどの事ではないと思った
8．その他（具体的に　　）
9．わからない

男女共同参画社会の形成に関する意識について

問33　あなたは、次の法律や言葉、東大阪市の取組みをご存じですか。（①～⑫の項目ごとに○は１つずつ）

	よく知っている	聞いたことがある	知らない
①　男女共同参画推進プランひがしおおさか21	1	2	3
②　東大阪市男女共同参画推進条例	1	2	3
③　男女共同参画社会基本法	1	2	3
④　男女雇用機会均等法	1	2	3
⑤　東大阪市子どもを虐待から守る条例	1	2	3
⑥　育児・介護休業法	1	2	3
⑦　ポジティブ・アクション（積極的改善措置）	1	2	3
⑧　ジェンダー（社会的性別）	1	2	3
⑨　ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）	1	2	3
⑩　リプロダクティブ・ヘルス／ライツ（性と生殖に関する健康／権利）	1	2	3
⑪　ドメスティック・バイオレンス（ＤＶ）（配偶者や恋人など親しい人からの暴力）	1	2	3
⑫　男女共同参画センター・イコーラムの「女性のための相談」電話相談　072-960-9206 面接相談予約　072-960-9205	1	2	3

問34　「男女共同参画社会」とは、男女が、互いの人権を尊重しつつ、職場や家庭、地域活動など、社会のあらゆる場に対等に参画し、共に責任と喜びを分かち合う社会のことです。

あなたは、「男女共同参画」を推進するために、どのような活動に参加したいと思いますか。（○はいくつでも）

1．男女平等をめざした制度や施策の制定や見直しについての意見を述べたり、提案をする
2．政策決定の場に積極的に参加する
3．男女の平等と相互の理解や協力についての学習会を開催したり、参加したりする
4．女性の生き方に関する情報提供や交流の場、相談、教育などの活動に参加する
5．子育て支援に関する活動に参加する
6．高齢者や障害者の介助のための活動に参加する
7．女性に対する暴力防止のための活動に参加する
8．男女共同参画センターで開催される学習会や講演会に積極的に参加する
9．多様な文化や生活習慣に関する理解を深めるための国際交流の場に参加する
10．特にない・わからない
11．その他（具体的に　　）

問35　男女共同参画社会実現のためのご意見、ご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

ご多忙の中、誠に恐縮ですが、調査票を同封の返信用封筒に入れ、**<u>１０月６日（火）</u>**までにお近くの郵便ポストにご投函ください。（切手を貼る必要はありません。）